2027年度砂川市立病院卒後臨床研修プログラム

2025.12.1

（基幹型定員9名＋たすきがけ各大学1名）

特徴①２年間のスーパーローテートによる幅広い研修（内科８ヶ月、外科・救急科２ヶ月、小児科・麻酔科・精神科・産婦人科・地域医療をそれぞれ１ヶ月、自由選択７ヶ月）は、必修科が多いことや、内科・外科系を配慮した研修が特徴です。

特徴②救急外来での日当直研修は、指導医（上級医）と２年目研修医、１年目研修医の屋根瓦で行い、「北米型ER」方式で一次救急から三次救急までのあらゆる患者さんの診療をファーストタッチ（主に１年目研修医）から帰宅、入院、退院まで指導医（上級医）や各科専門医のバックアップのもと実践しています。

特徴③感染症・総合内科専門医の岸田直樹先生が毎週木曜日指導いたします。（月２・３回、研修医とともに救急外来の日当直あり）

特徴④日当直フィードバックを毎週火曜日、抄読会を隔週金曜日に行います。

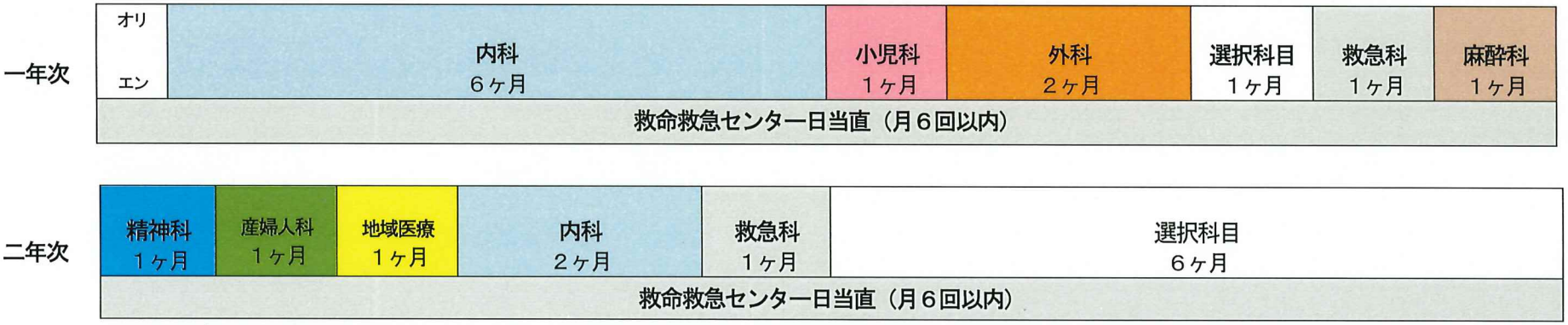
【詳細】

１年次では内科を６ヶ月（総合診療科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科・循環器内科・脳神経内科）、救急科・麻酔科を各１ヶ月(救命救急センター日当直を月６回以内行う)、外科（消化器外科・乳腺外科・緩和ケア外科）を２ヶ月、小児科を１ヶ月、選択科目（心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、放射線診断科から選択)を１ヶ月研修する。

２年次では精神科、産婦人科を各１ヶ月、内科を２ヶ月、救急科を１ヶ月(救命救急センター日当直を月６回以内行う)、地域医療を１ヶ月（松前町立松前病院、北海道立羽幌病院から選択）研修する。

２年次の６ヶ月、当院および北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院（大学病院での研修は最大２ヶ月まで）において内科、外科、救急科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科、放射線治療科、放射線診断科、検査科(エコー等)等及び大学病院の標榜科等から選択できるほか、地域医療（必修と合わせて最大２ヶ月まで）を選択できる。

一般外来研修の４週以上は、１年次の内科研修６ヶ月の期間中に０．５日を１６回以上、小児科研修１ヶ月の期間中に０．５日を４回以上、２年次の内科研修２ヶ月の期間中に０．５日を４回以上、地域医療研修１ヶ月の期間中に０．５日を１６回以上それぞれ行うことにより２年間で合計４週以上並行研修する。



※それぞれの年度内でローテートする科は個々の研修医により順不同です。日当直は１ヶ月最大６回以内といたします。

週　間　予　定　表　　〔　全　体　病床数４０５床〕

砂川市立病院研修管理委員会

	月	火	水	木	金	土･日
朝		日・当直経験症例 フィードバック ７：３０～８：１５	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ･ｹｱｶﾝﾌｧﾚﾝｽ ７：３０～８：００ キャンサーボード ８：００～８：３０	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ･ｹｱﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ ７：３０～８：００ ミニレクチャー ８：００～８：３０	共通抄読会 ミニレクチャー （隔週） ７：３０～８：００	※各レクチャー等 必要な場合は Zoom による録画配信します
午前						週末日直
昼				岸田直樹先生 ランチョンセミナー １３：１５～１４：１５		
午後		研修管理委員会 年４回火曜日（代表）				
夕方			前月のポートフォリオ フィードバック 第２水曜日			
夜	医局会議 第４月曜日	日当直　月６回以内				

※２４時間以内に９時間の連続した休憩時間（１５時間の連続勤務時間制限）
　４８時間以内に２４時間の連続した休憩時間（２４時間勤務の当直明けは２４時間のインターバル）

砂川市立病院

初期臨床研修プログラム

研修終了後に離島の診療所へ
赴任しても即戦力となる医師
の育成









2

砂川は札幌と旭川の中間

札幌までＪＲで47分　車で70分
旭川までＪＲで38分

砂川市の人口(2025.3末)
合計　15,105人
男　　7,007人
女　　8,098人
世帯　8,388世帯



病院概要

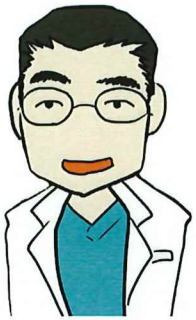


標榜診療科目（**29科**）
全科そろってます

病床数　　**405床**
うち、一般321床
精神80床(休床40床)、**救命救急センター**18床
感染症4床　⇒　新型コロナウイルス感染症など

職員数　　**942名**　(2025.4.1現在)
うち**医師104名**
（指導医38名、**研修医18名**（１年目9名・２年目9名））

各種指定



- 地域センター病院→中空知唯一
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- DMAT指定医療機関

  東日本大震災では全国に先駆けて出動、

  能登半島地震も出動しました。
- 認知症疾患医療センター
- 総合内科医養成研修センター

救急外来患者数

10,093名　（うち入院2,600名）

救急車搬送数	ドクターヘリ	ドクターカー
2,665名	6名	7名

外来患者数

945.6名/日

分娩数

372件　（正常291件、異常81件）

地域周産期母子医療センターです。**妊産婦の救急対応**も多数経験できます！

特色

- 道内の臨床研修病院の先駆け。2004年から。
- 教育研修センター(事務)による手厚い研修サポートは全道ナンバー1!
- 研修医が互いに切磋琢磨（出身大学が複数）
- 救急当直研修で極めて豊富な症例を経験
- 充実した専門診療科のバックアップ
- 恵まれた処遇・待遇（安心して勤務できます）

救急外来での上級医からの声

１年目（５月末時点）

１年目の先生方は、どんどんできるようになっていますね。自分の１年目の頃と比較すると全然違う。どんどん色々な症例を経験して、色々なことを吸収できています。

２年目（５月末時点）

砂川の研修医２年目は良く動けて「すごいなー」と思いました。的確な診察や検査ができていてすばらしいです。

プログラムの特徴(２つの柱)

①救命救急センター研修

- **北米型ＥＲで一次救急から三次救急までのあらゆる患者**を診療
- **Common diseasesの患者を浴びるほど**診られます
- **Walk-inの心筋梗塞、大動脈解離なども！**
- **年間2,665台の救急車（必要にして充分）**
- **１年目研修医、２年目研修医、指導医でチーム診療**



- **研修医１人当たり日当直回数(上限)**
  ６回以内／月　　年72回以内
- **救急外来受診患者**
  10,093人／年
  28人／日
- **研修医一人当たりの救急外来経験症例数**
  年に約1,100人
- **平均の救急車搬入件数**
  7.3件／日



当直で経験する症例

急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離、喘息、低血糖、腸閉塞、胆管炎・胆嚢炎、腎盂腎炎、消化管出血、乳腺炎、尿路結石、脳卒中、胸膜炎、急性薬物中毒、過換気症候群、ＣＰＡ、交通外傷、骨折、脱臼、アキレス腱断裂、帯状疱疹、蕁麻疹、腹痛、めまい、鼻血、熱傷、・・・・

小児では発熱、肘内障、溶連菌性咽頭炎、伝染性膿痂疹、など・・・

②ローテーション研修

- 必修

  他と比較して長くなってます

  - **内科８ヶ月(1年次6ヶ月、2年次2ヶ月)**
  - **外科２ヶ月**
  - 救急２ヶ月、麻酔１ヶ月
  - 小児科１ヶ月、産婦人科１ヶ月、
  - 精神科１ヶ月、地域医療１ヶ月
- 選択：７ヶ月

  （１年次１ヶ月、２年次６ヶ月）

２年間のスケジュール

１年目

内科 6ヶ月	小児科 1ヶ月	外科 2ヶ月	選択科目 1ヶ月	救急科 1ヶ月	麻酔科 1ヶ月
①一般外来並行研修(内科・小児科)　②救急外来　月6回以内(年間72回以内)					

２年目

選択科目 6ヶ月	救急科 1ヶ月	内科 2ヶ月	精神科 1ヶ月	産婦人科 1ヶ月	地域医療 1ヶ月
①一般外来並行研修(内科・地域医療)　②救急外来　月6回以内(年間72回以内)					

- １年目
  - 内科６ヶ月

    総合診療科→２ヶ月

    呼吸器内科→１ヶ月・消化器内科→１ヶ月

    循環器内科→１ヶ月・脳神経内科→ １ヶ月
  - 外科２ヶ月→(消化器外科・乳腺外科・緩和ケア)
  - 救急科１ヶ月、麻酔科１ヶ月、小児科１ヶ月
  - 選択１ヶ月→心臓血管外科、整形外科、形成外科、

    脳神経外科、産婦人科、放射線診断科から選択

- 2年目
  - 内科２ヶ月

    総合診療科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科など
  - 救急科１ヶ月、産婦人科１ヶ月、精神科１ヶ月
  - 地域医療１ヶ月→北海道立羽幌病院などから選択
  - 選択６ヶ月

    砂川市立病院の診療科

    北大、札医大、旭医大から2ヶ月まで可能

    地域医療を１ヶ月追加可能　(計2ヶ月まで可能)

地域に根ざした医療

- **道立羽幌病院**（焼尻島での研修あり）**松前町立松前病院等**でのプライマリ・ケア研修も取り入れ、経験の幅を広げます
- ２年間の研修は、地域医療研修を除いて、すべて**砂川市立病院**で研修可能です。

研修目標の例

循環器内科

1．循環器疾患の患者を通して内科診療を学ぼう

2．非循環器医が身につけてほしい最低限の知識を身につけよう。

①問診の重要性を知ろう

②心電図を読めるようになろう

③ポータブル心エコーを使えるようになろう

3．経験しよう

①除細動

②PSVTをATPでstop!

③動脈穿刺、静脈穿刺



平林事業管理者

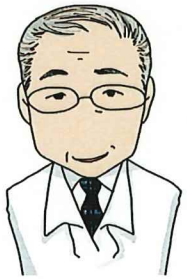
研修目標の例

総合診療科

1．幅広い領域の総合的な診断能力を身につける

2．問診・身体所見をしっかりと。

3．訪問診療を学ぼう









木村眞司副院長

週間予定表

	月	火	水	木	金	土・日
朝		日・当直経験症例 フィードバック 7:30～8:00	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ･ｹｱｶﾝﾌｧﾚﾝｽ 7:30～8:00 (ｷｬﾝｻｰﾎﾞｰﾄﾞ) 8:00～8:30	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ･ｹｱﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ 7:30～8:00 ・ミニレクチャー 8:00～8:30	・抄読会 ・ミニレクチャー 7:30～8:00	
午前				岸田直樹先生 ﾗﾝﾁｮﾝｾﾐﾅｰ 13:30～14:30 (内科ﾛｰﾃｰﾄ)		
昼						
午後						
夕方			前月の ポートフォリオ フィードバック (第2水)			
夜	日当直月6回以内					

・日当直フィードバック　（毎週火）
・ミニレクチャー　　（木・隔週金）
・抄読会　　（隔週金）



研修医が主体となって行なっており、
総合診療科　木村副院長がサポートします。



岸田先生と学ぶ贅沢な時間



感染症・総合内科の教育　毎週木曜
「間違いなく将来の糧になります」

Sapporo Medical Academy代表
岸田　直樹　先生
午前　岸田先生と「闘魂外来」
昼　　総合内科ランチョンセミナー
午後　内科病棟・感染症教育
月２回　研修医と救急当直
月１回午前　内科病棟教育回診

ネット上の学習会に毎週参加！

- ﾌﾟﾗｲﾏﾘ・ｹｱｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
  - □水曜朝　各地から症例共有、抄読会
- ﾌﾟﾗｲﾏﾘ・ｹｱﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ
  - □木曜朝　各地からﾌﾟﾗｸﾃｨｶﾙなレクチャー
  - □当院が司会

外部講師によるセミナーも

- 今までも有名講師陣を招聘

国保旭中央病院
坂本　壮　先生
諏訪中央福井大学医学部附属病院救急総合診療部
林　寛之　教授
諏訪中央病院総合診療科
山中　克郎　先生
市立福知山市民病院
川島　篤志　先生　など

外部講師によるセミナー

■ 昨年度実施（医学生も参加できます）

国立病院機構大阪医療センター
松本　謙太郎　先生



社会福祉法人聖母会　聖母病院
南郷　栄秀　先生

年間数回予定しています!
日程が決まり次第、ホームページ・SNS等で周知します。

学会・研修会等の参加

◇北海道内外の学会等は、公費により参加できます！
■北海道内外で学会
■各種講習会の参加
など**当院で参加費、旅費を支給**しています。
（上限額有　年10万円）

◆医学研究手当　月2万円支給（書籍購入など）

充実したキャリアアップ支援！

基幹型研修医の出身大学

- **北大**　５７名　37%
- **札医大**　４８名　31%
- **旭医大**　２０名　13%
- **自治医大**　１２名　8%
- **その他**　11%

山形大、杏林大　各３名
琉球大、岩手医大、独協医大　各２名
大阪大、九州大、産業医大、昭和大、独協医大、
帝京大、神戸大、藤田医大　各１名　**計１５６名**

※2004年度～2026年度までの23年間

どこの大学出身者も大歓迎！　学閥はありません

現在在籍しているのは（五十音順）：18名
旭川医大
杏林大
札幌医大
自治医大
獨協医大
藤田医大
北大
山形大

2025年度採用研修医の出身大学

- **札医大**　５名
- **北大**　１名
- **自治医大**　１名
- **杏林大**　１名
- **藤田医大**　１名

※基幹型研修医　定員９名

基幹型研修医卒業直後の主な進路

- **北海道大学(58名)**
  第一外科15、循環器内科11、麻酔科６、呼吸器内科5、整形外科4、脳神経外科３、小児科3、放射線診断科3、救急科１、第三内科１、循環器外科１、形成外科１、血液内科１、産婦人科1、乳腺外科1、免疫・代謝内科1
- **札幌医科大学(31名)**
  形成外科５、脳神経内科5、心臓血管外科4、整形外科4、救急科3、第二内科２、　小児科２、産婦人科１、精神科１、泌尿器科１、消化器内科1、麻酔科1、放射線科１
- **旭川医科大学(8名)**
  第三内科4、第一内科２、泌尿器科１、小児科１
- **砂川市立病院(5名)**
  循環器内科２、外科１、内科１、総合診療科1

地方の研修病院、砂川市立病院のいいところ

- 一つの病院で医療が**ほぼ完結**。初診から最終診断までフォローできる。
- 近隣住民による**絶大な信頼！**
- **断らない病院。断りません！**
- **職員が皆とてもいい方々で非常に熱心！**

研修医の定員の年次推移

- ２名→５名→６名→７名→８名→**９名**
- 2022年度まで17年間フルマッチで、
- 今回も定員９名充足！
- 毎年、受験者数もさほど多くありません。
  チャンスです!
- ぜひ、見学にいらしてください！

2027年度採用臨床研修医試験

定　　員	**９名**
募集期間	**2026年7月1日(水)～**
	①8月14日(金)・②8月21日(金)必着
試 験 日	**①2026年8月21日(金)　午後1時から**
	②2026年8月28日(金)　午後1時から
	※都合のつかない場合は別途実施します
選考方法	**①個人面接②ﾊﾟｰｿﾅﾙｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ(申込時に提出)**
応募方法	**①履歴書（当院指定）**
	②採用試験申込書（志望理由・将来などについて）
	※①と②を応募先へ郵送ください
提出書類	**試験当日持参するか応募申込時に一緒に郵送**
	①成績証明書②卒業（見込み）証明書
	②健康診断書（大学発行のもので可）
	（大学で実施していない場合は免除）

充実した研修医の処遇・待遇

- 身　　分　　常勤医師（**正職員**）
- 給　　与　　**1年目　32.3万円/月　賞与106万円/年**
- 　　**2年目　37.1万円/月　賞与170万円/年**
- 手　　当　　診療手当(月2.5万円)、医学研究手当(月2万円)、
- 　　期末・勤勉手当(賞与)、住居手当、宿日直手当、
- 　　寒冷地手当、**時間外手当**など　→ 結構**大きい**です！
- 退 職 金　　有り
- 時間外手当　　有り(実績に応じて支給)
- 勤務時間　　月曜日～金曜日　8：30～17：00
- 休　　暇　　有給休暇、夏期休暇、特別休暇
- 時間外勤務　　必要に応じて行う（年1,860時間以内）
- 宿　　舎　　あり

病院見学・実習

- 交通費の補助　　北海道内外　５，０００円
- 宿　　泊　　市内のホテルを当院で用意します
- 申　　込　　砂川市立病院ホームページより申込ください
- お問い合わせ　　砂川市立病院教育研修センター
- 　　電話　0125-54-2131

- **砂川市立病院ホームページＱＲコード**

砂川市立病院研修医　2024年



砂川市立病院研修医　2025年

